

高森中

清掃や雪かきで盛り上げ



これがイチオシ

10周年の森を引き継ぐ

高森中学校には、22年前に創立10周年を記念して作られた小さな森があります。PTAや地域の方々が、将来に向かって生き続ける何かをプレゼントしたいという願いから作られました。その森の中に「花の小川」という花壇があり、季節ごとに花を植える活動を生徒と保護者や地域の方が協力して行っています。2023年度の「仙台市緑と花いっぱい花壇コンクール」では最優秀賞に輝きました。伝統を引き継ぎ、今後も10周年の森と花壇を大切にしていきたいです。

学校名 仙台市立高森中学校
 所在地 仙台市泉区高森6の2
 創立 1990年
 電話 022(378)7242
 校長 森 和子
 生徒 282人

高森中学校は泉パークタウン内の自然に囲まれた落ち着いた住宅街の中にあります。学区は一つの中学校と二つの小学校から構成されており、「人とかかわり合い、人のためになろうとする子どもを共に育てましょう」という三校の協働目標があります。

それを受けて高森中では、少しでもボランティア「通称・すこボラ」をすすめて、地域の方との交流の機会をつくる活動を行っています。



泉パークタウン一斉クリーン作戦でボランティア活動に励む生徒

編集委員 前場友樹、早坂日花 (3年)
 指導教員 岩淵謙

すこボラ活動のすすめ

高森中学校は、児童センターまつりなどの準備作業や運営ボランティアなどを行ってきました。雪が積もった日の朝などは学校周辺の雪かきもしました。ボランティア活動を通して、人の役に立つことのすばらしさを生徒一人一人が日々、実感しています。地域の方々からは自ら進んで仕事を見つけて動く姿が大変素晴らしいとお褒めの言葉もいただいています。

わが校わがまち スクール通信



今回は
 南小泉小 (仙台市)
 栗駒中 (栗原市)

野鳥観察 豊かな自然を守る

新田小



これがイチオシ

地域とたくさんの交流

さまざまな交流がある新田小学校では、中学校と縦割り活動や縦割り遠足を通して、絆を強めています。遠足の帰り道では、小学生が中学生におんぶしてもらっている光景も見られます。新田幼稚園とは、2・5年生が小学校の紹介をしたり、遊びを考えて一緒に遊んだりしています。地域の方々とは、総合発表会や地区統合防災訓練などを通して、たくさん交流しています。新田小では、地域の方々から新田の良さをたくさん学び、地区を盛り上げようと頑張っています。

学校名 登米市立新田小学校
 所在地 登米市迫町新田山居37の1
 創立 2008年
 電話 0220(28)3160
 校長 高橋 修子
 児童 118人

総合学習で古里を知る

私の学校の良いところは、総合的な学習を通して、6年間で自分たちが住んでいる新田地区の環境を知ることができるところです。

伊豆沼をきれいにするために、地域の意見を聞きながら考えたり、実際に植物を植え、水質をきれいにする活動をしたり熱心に活動しています。

新田地区には多くの野鳥がやってくるので、観察を通し、野鳥の生態や野鳥が住みやすい環境について学習しています。高学年になると、伊豆沼へ行き、沼に住んでい

る生き物を実際に捕獲し、観察したり、触ったりと普段ならできない体験をします。



地域の方に教わりながらノメの収穫を体験する子どもたち

編集委員 及川一七、伊藤大翔、石川叶愛、佐々木佑晟、千葉澁 (3月卒業、中学1年) 指導教員 皆川華南、及川拓人